

函館市医療・介護連携推進協議会 第4回会議

日時：平成28年2月18日（木）19：00～

場所：総合保健センター 2階 健康教育室

【次第】

1 開 会

2 議 事

(1) 進捗状況の確認

(2) 在宅医療・介護連携に関する相談支援について

ア 函館市医療・介護連携支援センターの概要について

イ センター機能の相談支援業務における立ち位置の考え方について

ウ センターのその他の機能の内容の検討について

(3) 医療・介護関係者の情報共有の支援について

(4) 医療・介護関係者の研修について

3 その他

(1) 次回の協議会について

4 閉 会

【配付資料】

- 1 議事（1）進捗状況の確認
- 2 議事（2）在宅医療・介護連携に関する相談支援について
- 3 議事（3）医療・介護関係者の情報共有の支援について
- 4 議事（4）医療・介護関係者の研修について
- 5 次回スケジュールの確認票

函館市医療・介護連携推進協議会 顧問・委員名簿

H28.2.18現在

(顧 問)

(敬称略)

| 分野 | 所属団体 | 職名 | 氏名 | 勤務先 | 第4回 出欠 |
|----|----------------|-----|-------------------|------------------|-----------|
| 1 | 公益社団法人 函館市医師会 | 会 長 | ホンマ 哲 本間 哲 | 医療法人社団 本間眼科医院 | 出席 |
| 2 | 一般社団法人 函館歯科医師会 | 会 長 | タジマ 久士 田嶋 久士 | たじま歯科医院 | 出席 |
| 3 | 一般社団法人 函館薬剤師会 | 会 長 | クマカワ マサキ 熊川 雅樹 | あおい薬局 | 出席 |
| 4 | 函館市病院局 | 局 長 | ヨシカワ オサミ 吉川 修身 | 函館市病院局 | 出席 |

(委 員)

(敬称略)

| 分野 | 所属団体 | 職名 | 氏名 | 勤務先 | 第4回 出欠 |
|----|--------------------------------|------|--------------------|---------------------------------|-----------|
| 1 | 公益社団法人 函館市医師会 | 副会長 | オンムラ ヒロキ 恩村 宏樹 | 医療法人社団 恩村内科医院 | 出席 |
| 2 | 一般社団法人 函館歯科医師会 | 副会長 | イワイ ユウジ 岩井 祐司 | 戸井歯科診療所 | 出席 |
| 3 | 一般社団法人 函館薬剤師会 | 常務理事 | ミズエ ヒロミチ 水越 英通 | はこだて調剤薬局 美原店 | 出席 |
| 4 | 公益社団法人 北海道看護協会 道南南支部 | 支部長 | タカハシ ジュンコ 高橋 純子 | 医療法人 道南勤労者医療協会 道南勤医協 函館稜北病院 | 出席 |
| 5 | 道南在宅ケア研究会 | 幹 事 | オカダ シンゴ 岡田 晋吾 | 医療法人社団 守一会 北美原クリニック | 出席 |
| 6 | 函館地域医療連携実務者協議会 | 世話人 | カメヤ ヒロシ 亀谷 博志 | 社会福祉法人函館厚生院 函館中央病院 | 出席 |
| 7 | 一般社団法人 北海道医療ソーシャルワーカー協会 南支部 | 事務局長 | サケモト セイイチ 酒本 清一 | 独立行政法人国立病院機構 函館病院 | 出席 |
| 8 | 函館市居宅介護支援事業所連絡協議会 | 会 長 | ナカムラ キョウキ 中村 清秋 | 居宅介護支援事業所 ひなたぼっこ | 出席 |
| 9 | 函館市地域包括支援センター連絡協議会 | 幹 事 | マツノ ヨウ 松野 陽 | 函館市地域包括支援センター厚生院 | 出席 |
| 10 | 函館市訪問リハビリテーション連絡協議会 | 会 長 | テラダ マサヒロ 寺田 昌弘 | 社会医療法人 仁生会 西堀病院 | 出席 |
| 11 | 道南訪問看護ステーション連絡協議会 | | ホサカ アケミ 保坂 明美 | 株式会社トランスユイット 訪問看護ステーション フレンズ | 出席 |
| 12 | 道南地区老人福祉施設協議会 | 会 長 | サイトウ タダフミ 齋藤 禎史 | 介護老人福祉施設シンフォニー | 出席 |
| 13 | 函館市保健福祉部 | 部 長 | フジタ ヒデキ 藤田 秀樹 | 函館市 | 出席 |

(オブザーバー)

| |
|--|
| 函館市医師会事務局 函館歯科医師会事務局 函館薬剤師会事務局 渡島総合振興局 |
|--|

(事務局)

| |
|----------|
| 函館市保健福祉部 |
|----------|

議事（１） 進捗状況の確認

1 これまでの取り組みの概略

（１）医療・介護連携に関わる課題整理

地域の介護事業所に対して、医療・介護連携に関わるアンケート調査を実施し、今後の協議検討に向けた課題整理を行った。

（２）地域の医療・介護の資源把握

地域の在宅医療・介護資源を把握し、市のホームページ上でそのリストを公表した。なお、リスト化した在宅医療・介護資源のマップ化に取り組む予定。

（３）在宅医療・介護連携に関する相談支援

市民や地域の医療・介護関係者の相談対応や調整を行う相談支援窓口（（仮称）医療・介護連携支援センター）の設置に向けた協議を進める。その運営については、函館市医師会に担っていただくことで協議会の賛同を得たところであり、平成29年度の開設に向け、平成28年度から準備行為を開始する予定。

（４）医療・介護関係者の情報共有の支援

医療・介護の関係者間において、速やかに情報共有し、市民の在宅療養生活を円滑に進めることができるよう、情報共有シート等の書式の標準化に向けた調査検討に着手。

（５）医療・介護関係者の研修

医療・介護連携に関わる多職種を対象とした研修を実施（平成28年2月20日に第1回の研修会開催予定）し、併せて今後の研修のあり方についても実務者レベルでの協議を進める。

議事（2） 在宅医療・介護連携に関する相談支援について

1 函館市医療・介護連携支援センターの概要について 4 p 参照

- ・ 平成28年度「センター準備室」，平成29年度「センター」

2 センター機能の相談支援業務における立ち位置の考え方について

(1) 相談支援の形態 ～ 5 p 参照

電話，訪問，来所，文書，電子メール，協議

(2) 医療・介護連携における課題と解決方策の例 ～ 6 p 参照

(3) 立ち位置の案

ア 市民からの相談対応に関しては，ワンストップの窓口の視点から，コーディネーター（当事者）※¹の立ち位置

イ 医療関係者，介護関係者からの相談対応に関しては，本来は関係者自らの責任において解決すべき事案のため，基本的にスーパーバイザー（助言指導者）またはコーディネーター（非当事者）※²の立ち位置

※1 コーディネーター（当事者）～ 自らの相談事案を，自らの責任においてコーディネートする立場の意

※2 コーディネーター（非当事者）～ 自らの相談事案ではないが，関係者間のコーディネートに介入し，助言指導する立場の意

(4) 参考概念図 7 p 参照

論点 1 相談支援におけるセンターの基本的な立ち位置について

3 センターのその他の機能の内容の検討について

(1) 基本的な考え方

センター機能の内容については、基本的には市・医師会において検討するが、関係者の意見や実態を踏まえ検討する必要があるものについては、部会を設置し検討する。

(2) センター機能と検討主体・検討の場

| 機能について検討が必要な事項・視点 | 検討主体・検討の場 |
|--------------------------------------|-----------------|
| ア 多職種による在宅医療・介護連携の支援 | |
| (ア) 多職種連携ルールの確認・普及 | |
| ・ 退院支援，退院時カンファレンスのあり方 | 医師会・部会による検討→協議会 |
| ・ 急変時の対応ルール，後方支援体制 (救急体制との整合性の整理) | |
| (・ 日常の療養支援 ・ 看取り) | (今後検討を要する) |
| (イ) 情報共有システムの利用促進 | |
| ・ ツールの標準化 | 医師会・部会による検討→協議会 |
| ・ ツールの具体的な活用方法 | |
| ・ ツール導入後の利用状況把握と検証 | |
| イ 在宅医療に係る研修 | |
| (ア) 医療・介護関係者のための研修会の開催 | |
| ・ 研修の企画・立案 | 医師会・部会による検討→協議会 |
| ・ 研修スケジュールの策定 | |
| ・ 研修の実施，運営 | |
| (ウ 入院医療機関と在宅の間の連携コーディネート ～ 相談支援機能) | |
| エ 市民への啓発・市民からの相談 | |
| (ア) 市民への啓発 | 医師会→協議会 |
| ((イ) 市民からの相談 ～ 相談支援機能) | |

論点2 部会設置について

1 部会の分野

- (1) 連携ルール 作業部会
- (2) 情報共有ツール 作業部会
- (3) 多職種連携研修 作業部会

2 部会の概要について

- (1) 部会長, 副部会長 ～ 委員の中から選出
- (2) 部会メンバー ～ 部会長, 副部会長と協議のうえ人選
(委員外の参加可能)
- (3) 部会構成員の確定 ～ 次回協議会で提案 (5月の第5回)
- (4) 部会開催時の謝金 ～ 無し

函館市医療・介護連携支援センターの概要について

1 函館市医療・介護連携支援センターの概要

- (1) 設置場所 函館市医師会病院内に設置
- (2) スタッフ 4人体制（看護師1，ソーシャルワーカー2，事務1）
- (3) 実施時期 平成28年度 ～ 準備期間
平成29年4月（予定）～ 本格実施
- (4) 経費概算 約2,000万円（H28）
- (5) センターの業務
 - ア 医療・介護連携に関する相談支援
 - イ 切れ目のない医療・介護の提供体制の構築
 - ウ 地域の医療・介護の資源の把握
 - エ 医療・介護関係者の情報共有の支援
 - オ 医療・介護関係者の研修
 - カ 地域住民への普及啓発
- (6) センター開設時間帯
平日の日中（ただし、時間外・休日対応について別途連絡体制を検討中）

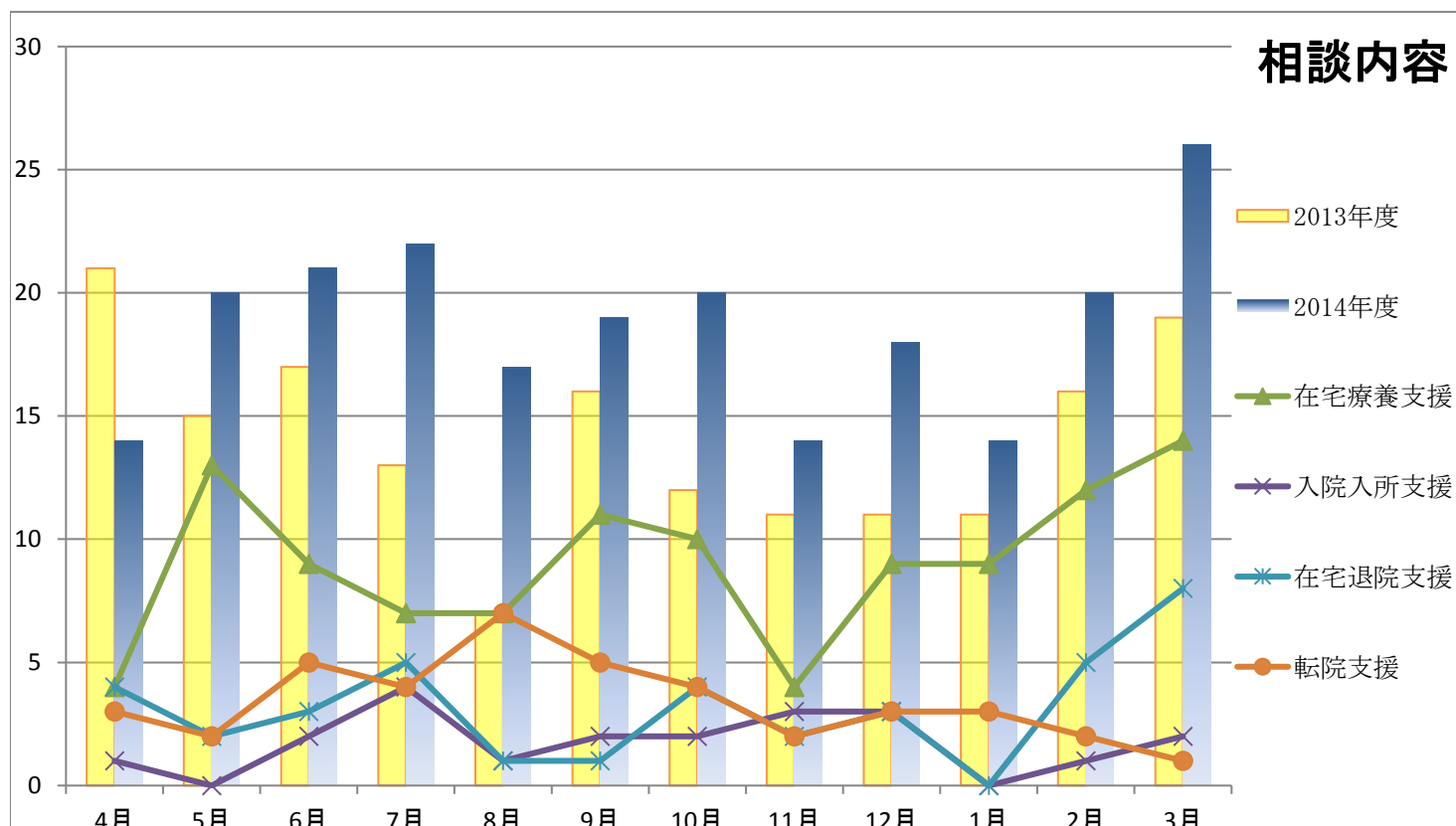
2 今後の方向性

- ・ 医療・介護の実情や仕組みに精通した看護師，ソーシャルワーカーが運営。
- ・ 医療に関する専門的知識を有する者が対応するワンストップの窓口。

豊島区在宅医療相談窓口 実績報告書(2014年4月～2015年3月分)

1、相談件数

| | | | 4月 | 5月 | 6月 | 7月 | 8月 | 9月 | 10月 | 11月 | 12月 | 1月 | 2月 | 3月 | 合計 |
|------|-----------------|---------|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|------|
| 新規 | ケース数 | | 14 | 20 | 21 | 22 | 17 | 19 | 20 | 14 | 18 | 14 | 20 | 26 | 225 |
| 相談内容 | 在宅療養相談 | 在宅療養支援 | 4 | 13 | 9 | 7 | 7 | 11 | 10 | 4 | 9 | 9 | 12 | 14 | 109 |
| | | 入院・入所支援 | 1 | 0 | 2 | 4 | 1 | 2 | 2 | 3 | 3 | 0 | 1 | 2 | 21 |
| | 退院相談 | 在宅退院支援 | 4 | 2 | 3 | 5 | 1 | 1 | 4 | 2 | 3 | 0 | 5 | 8 | 38 |
| | | 転院支援 | 3 | 2 | 5 | 4 | 7 | 5 | 4 | 2 | 3 | 3 | 2 | 1 | 41 |
| | その他 | | 2 | 2 | 2 | 2 | 1 | 0 | 0 | 3 | 0 | 2 | 0 | 1 | 15 |
| 依頼者 | 本人 | | 0 | 1 | 3 | 2 | 2 | 0 | 2 | 1 | 0 | 2 | 0 | 1 | 14 |
| | 家族 | | 5 | 2 | 5 | 6 | 6 | 5 | 4 | 2 | 6 | 7 | 10 | 8 | 66 |
| | 医療機関 | | 2 | 2 | 5 | 3 | 1 | 1 | 6 | 3 | 2 | 1 | 2 | 3 | 31 |
| | 訪問看護ST | | 0 | 3 | 0 | 2 | 0 | 1 | 0 | 0 | 1 | 0 | 0 | 1 | 8 |
| | 居宅介護支援事業所 | | 4 | 6 | 5 | 6 | 5 | 8 | 2 | 3 | 5 | 1 | 6 | 6 | 57 |
| | 地域包括支援センター | | 1 | 3 | 2 | 0 | 2 | 3 | 3 | 2 | 1 | 2 | 2 | 2 | 23 |
| | コミュニティソーシャルワーカー | | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 1 | 0 | 0 | 1 | 0 | 0 | 2 | 4 |
| | 行政 | | 1 | 1 | 0 | 2 | 0 | 0 | 2 | 0 | 1 | 0 | 0 | 1 | 8 |
| | その他 | | 1 | 2 | 1 | 1 | 1 | 0 | 1 | 3 | 1 | 1 | 0 | 2 | 14 |
| 業務方法 | 電話 | | 132 | 116 | 124 | 121 | 100 | 151 | 93 | 74 | 92 | 86 | 158 | 167 | 1414 |
| | 訪問 | | 63 | 14 | 16 | 49 | 19 | 40 | 33 | 23 | 54 | 28 | 9 | 54 | 402 |
| | 来所 | | 19 | 22 | 17 | 24 | 16 | 15 | 15 | 10 | 23 | 6 | 11 | 15 | 193 |
| | 文書 | | 10 | 9 | 9 | 5 | 5 | 4 | 3 | 5 | 1 | 2 | 10 | 8 | 71 |
| | メール | | 50 | 33 | 47 | 60 | 26 | 64 | 42 | 26 | 34 | 36 | 51 | 35 | 504 |
| | 協議 | | 4 | 3 | 6 | 16 | 1 | 6 | 1 | 1 | 6 | 10 | 12 | 12 | 78 |
| | 合計(延べ数) | | 278 | 197 | 219 | 275 | 167 | 280 | 187 | 139 | 210 | 168 | 251 | 291 | 2662 |



医療・介護連携における課題と解決方策の例

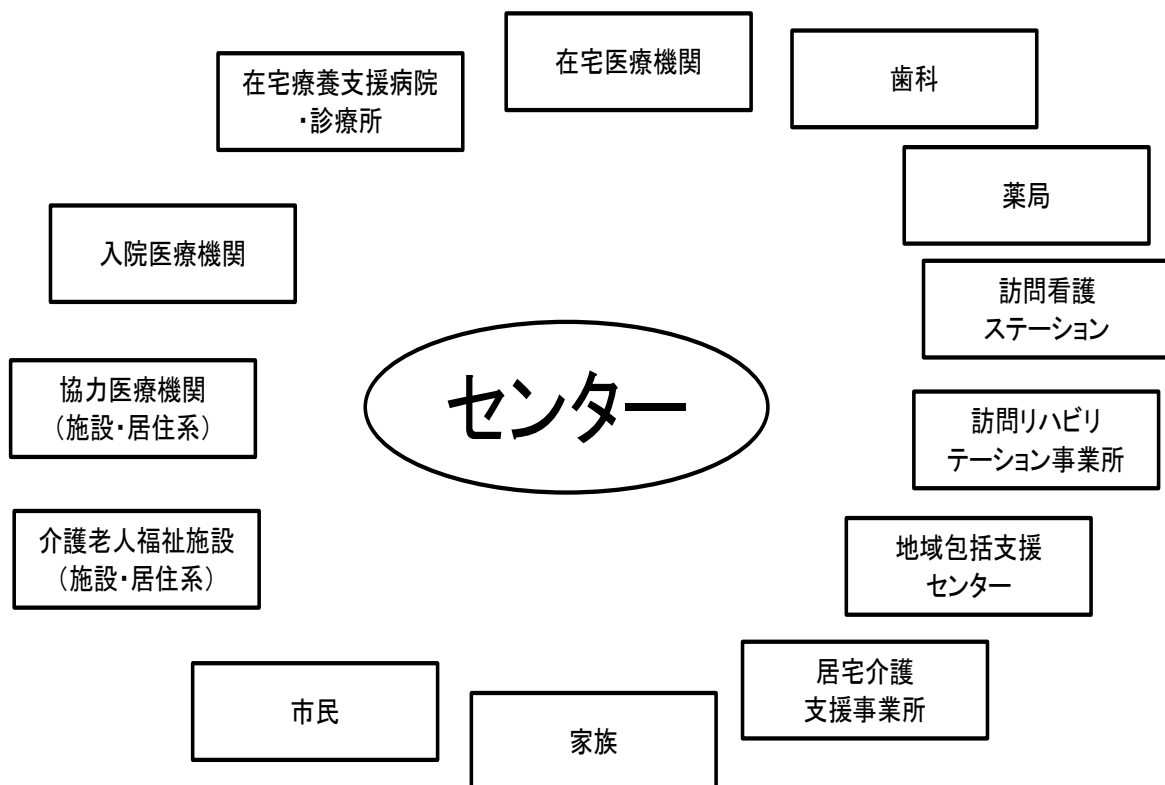
| 課題の例 | | 解決方策 | 解決方策の具体例 |
|-----------------|--|--|--|
| (1) 医療関係者の抱える悩み | | | |
| 入院医療機関 | 在宅医療や介護の環境が整わず、退院の判断に困る。 | | |
| | 協力してくれる在宅医療機関が不明であり、情報がほしい。 | | |
| | 在宅医療機関や介護事業所で、どのようなケアを行っているのかあまり知らない。 | | |
| 在宅医療機関 | 患者の急変時にスムーズに受入してくれる入院医療機関の情報がほしい。 | | |
| | 退院のとき、入院医療機関から情報がスムーズに提供されるような統一的な仕組みが欲しい。 | | |
| | 在宅での看取りへの負担が大きい。 | | |
| (2) 介護関係者の抱える悩み | | <ul style="list-style-type: none"> 在宅医療・介護資源に関する情報の収集、整理および活用 在宅医療・介護連携に関する課題の把握およびその解決に必要な施策の検討 在宅医療および介護が円滑に提供される仕組みの構築に向けた具体的な方策の企画・立案・周知 医療・介護関係者間の情報の共有を支援 在宅医療・介護連携に関する相談応需・情報提供・助言 在宅医療・介護連携に必要な知識の習得・向上のために必要な研修の開催 在宅医療・介護連携に関する市民の理解を深めるための普及啓発 | <ul style="list-style-type: none"> 在宅医療・介護資源インフラのリスト・マップの作成、更新 医療・介護関係者への取材による在宅医療・介護連携に関する課題の抽出、情報収集 入院医療機関、在宅医療機関および介護事業所の全市的なネットワーク形成またはコーディネートなど 医師の間のバックアップ体制の構築など 情報共有ツール・システムの標準化・統一化 医療に関する専門的知識を有する者による相談支援窓口の設置 研修のあり方に関する検討、企画、実施 市民フォーラムや講座の開催、啓発パンフレット等の作成・周知 |
| | 退院支援する際の統ルールがほしい。医療機関でまちまち。 | | |
| | 退院時のカンファレンスの実施が少ない。退院連絡が無い。 | | |
| | 患者、利用者および家族への丁寧な病状説明をしてほしい。 | | |
| | 医療機関との情報共有に関する統一的なツールがほしい。 | | |
| | 医療・介護関係者の双方の仕事の内容の把握、相互理解を深めるような機会がほしい。 | | |
| | 介護サービス利用者が急変したときの、スムーズな患者受入対応のルールや仕組みがほしい。 | | |
| | 看取りに際し、連携できる在宅医療機関が少ない。 | | |
| (3) 市民の抱える悩み | | | |
| | 在宅での医療処置に不安がある。(胃ろう、在宅酸素など) | | |
| | 在宅で利用できる医療・介護の制度について知りたい。 | | |
| | かかりつけ医がない。 | | |
| | 〇〇診療科で訪問診療してくれるところを知りたい。訪問看護を利用したい。 | | |
| | 家族による医療・介護の負担が大きく、もう限界だ。 | | |

○参考概念図 1



○参考概念図 2

※4局面：退院支援，日常の療養支援，急変時の対応，看取り



議事 (3) 医療・介護関係者の情報共有の支援について

1 情報共有ツールの取りまとめについて

各団体からの情報提供 ～ 2 p 参照

2 今後の取り組みの進め方について

(1) 「在宅医療・介護連携推進事業の手引き」による目的

患者・利用者の在宅療養生活を支えるために、患者・利用者の状態の変化等に応じて、医療・介護関係者間で速やかな情報共有が行われること。

(2) 今回提供された情報共有ツールの種類

- ア 独自作成様式
- イ 国が示している診療報酬や介護報酬の請求事務関係書類と全部または一部が同様の様式
- ウ 各団体の上部団体が示しているひな形の様式
- エ 連絡票様式

(3) 検討の視点

- ア 情報共有ツールとしての検討が必要な様式と、必要が無い様式の抽出
 - ・ 請求事務関係書類様式や既存の様式で問題が無い
 - ・ 各機関の機能が違うので、様式が多様化するの仕方が無い など
- イ 情報共有ツールとして利用されている請求事務関係書類の様式のアレンジの必要性の検討
 - ・ 多職種連携に必要な記載項目の追加 など
- ウ 請求事務関係書類とは別個に、独自に作成した方が有効な様式の検討
 - ・ 2度手間の書類作成負担の問題 など
- エ どの機関・事業所・施設の間の連携を支援するための情報共有ツールか
 - ・ 全ての医療機関・介護サービス事業所が共通に必要な情報を網羅した万能な情報共有ツールの作成は、現実的に困難 など
- オ 情報共有ツールの利活用方法、手順の検討
 - ・ 手引き等の作成 など
- カ デジタル化された情報共有ツールと、アナログのペーパーベースの情報共有ツールの関係や整合性
 - ・ 情報共有ツールの利用は、推奨か義務か など

情報共有ツール取りまとめ

| 団体名 | No. | 情報共有ツール | 備考 |
|---|-----------|-------------------------------|---|
| 函館市医師会 函館地域医療連携実務者協議会 北海道医療ソーシャルワーカー協 会南支部 | (函館中央病院) | | |
| | 1 | 基本情報 | |
| | 2 | 退院時情報提供書 | |
| | 3 | 転院時看護要約 | |
| | 4 | 入院前・入院時基本情報 | |
| | 5 | ご紹介患者様情報 | |
| | (市立函館病院) | | |
| | 6 | 看護連絡書 | |
| | (国立函館病院) | | |
| | 7 | 患者情報 | |
| | (函館五稜郭病院) | | |
| | 8 | 相談・連絡票 | |
| 9 | 看護要約 | | |
| 10 | 看護要約Ⅱ | | |
| (函館市医師会病院) | | | |
| 11 | 紹介患者様情報 | | |
| 12 | 看護要約 | | |
| 函館薬剤師会 | 13 | 診療情報提供書 | 北海道薬剤師会がひな形と して提供しているもの |
| | 14 | 在宅患者訪問薬剤管理指示書 | |
| | 15 | 服薬情報提供書 | |
| | 16 | 居宅介護支援専門員への報告書 | |
| 函館市居宅介護支援事業所連絡協 議会 | 17 | 地域医療連携推進カード | |
| | 18 | 診療情報提供書 | |
| | 19 | 退院・退所情報提供書 | |
| | 20 | 在宅情報提供書 | |
| 函館市訪問リハビリテーション連 絡協議会 | 21 | リハビリテーション計画書（アセ スメント）（様式2） | 厚生労働省書式 |
| | 22 | リハビリテーション計画書（様式 3） | |
| | 23 | リハビリテーション会議録 | |
| 道南訪問看護ステーション連絡協 議会 | 24 | 訪問看護の情報提供書 | H17頃に、全国の訪問看 護ステーション向け情報共 有様式集が作成され、各地 でアレンジして使用してい る |
| | 25 | 看護サマリー | |
| 道南地区老人福祉施設協議会 | 26 | 協力医療機関へのFAX用紙 | 介護老人福祉施設シンフォ ニーにて利用している様式 |

| 団体名 | No. | 情報共有ツール | 備考 |
|--------------------|------------------|--|-------|
| 函館市地域包括支援センター連絡協議会 | 27 | 利用者基本情報 | 標準様式 |
| | 28 | 基本チェックリスト | |
| | 29 | 週間サービス計画表 | |
| | 30 | サービス担当者会議の要点 | |
| | 31 | サービス担当者に対する照会（依頼）内容 | |
| | 32 | 介護予防支援経過記録 | |
| | 33 | サービス利用票 | |
| | 34 | サービス提供票 | |
| | 35 | 介護予防サービス-支援計画表 | |
| | 36 | 情報共有連絡票 | 連絡票様式 |
| | 37 | 「サービス担当者会議資料」としての主治医からのご意見について | 独自様式 |
| | 38 | 担当者会議開催における主治医からのご意見について | |
| | 39 | 介護保険での短期入所療養介護利用における医師の指示書 | |
| | 40 | 介護保険での通所リハビリ利用における医師の指示書 | |
| | 41 | 介護保険での訪問リハビリ利用における医師の指示書 | |
| | 42 | 介護保険での訪問看護利用における医師の指示書 | |
| | 43 | 介護保険での訪問入浴利用における医師の指示書 | |
| | 44 | 軽度者に対する福祉用具貸与に関する医師意見書 | |
| | 45 | 患者〇〇〇〇様の介護保険による訪問看護利用にあたっての指示書発行についてのご依頼 | |
| | 46 | サービス担当者に対する照会（サービス担当者会議資料） | |
| 47 | サービス利用の指示について | | |
| 48 | 医療系サービス利用の指示について | | |
| (17) | 地域医療連携推進カード | (函館市居宅介護支援事業所連絡協議会と重複) | |
| (18) | 診療情報提供書 | (函館市居宅介護支援事業所連絡協議会と重複) | |
| (19) | 退院・退所情報提供書 | (函館市居宅介護支援事業所連絡協議会と重複) | |
| (20) | 在宅情報提供書 | (函館市居宅介護支援事業所連絡協議会と重複) | |

議事（４） 医療・介護関係者の研修について

1 第1回 函館市における医療・介護連携推進に向けた多職種研修会の概要

2 p 参照

2 今後の取り組みについて

(1) 今回の研修の効果

- ・ 「退院支援」に関する課題の抽出
- ・ 今後の研修に関する意見の抽出
- ・ センターの研修機能への反映

別紙 研修概要書

○函館市における医療・介護連携推進に向けた多職種研修会

| | |
|-------|--|
| 名 称 | 第1回 函館市における医療・介護連携推進に向けた多職種研修会 |
| 目 的 | <p>医療・介護に携わる関係職種の相互理解と連携強化</p> <p>(説明) 少子高齢化が進む中、市民(患者・家族)がどこでも平等に同じケアや支援(サービス)を受けることが可能な地域づくりが目標である。 その地域づくりは医療・介護連携実務者および市民も含めた関係者が担い、函館市全体でその取り組みを継続的、横断的に行えるような体制の構築が急務である。 このような状況の中、医療・介護連携実務者の役割は大きく、本研修会においては医療・介護連携実務者の相互理解と連携強化を目的とし実施するものである。</p> |
| 共 催 | <p>函館市(函館市医療・介護連携推進協議会)</p> <p>一般社団法人北海道医療ソーシャルワーカー協会</p> |
| 日 程 | <p>平成28年2月20日(土) 14:00~16:45(予定)</p> <p>※ 研修終了後、職種を超えた交流を目的とした懇親会を予定</p> |
| 会 場 | <p>ホテル函館ロイヤル</p> <p>(函館市大森町16-9 電話26-8181)</p> |
| 司 会 | <p>一般社団法人北海道医療ソーシャルワーカー協会</p> <p>業務執行理事 八重樫 優</p> |
| テ ー マ | 「より良い退院支援」 |
| 内 容 | <ul style="list-style-type: none"> ・「より良い退院支援」への取り組みにかかる話題提供 4題 ※ 講師予定者(事例発表など) <li style="padding-left: 20px;">道南訪問看護ステーション連絡協議会 保坂 明美 様 <li style="padding-left: 20px;">函館市地域包括支援センター連絡協議会 渡邊 裕子 様 <li style="padding-left: 20px;">函館市居宅介護支援事業所連絡協議会 越尾 賢 様 <li style="padding-left: 20px;">北海道医療ソーシャルワーカー協会南支部 酒本 清一 様 ・グループワーク 2題 (最大25テーブル/8人掛け) <li style="padding-left: 20px;">①「専門職としての退院支援について」…取り組む問題・課題とは… <li style="padding-left: 20px;">②「具体的な研修内容について」…内容・方法・成果… |
| 参加対象 | <p>市内の医療・介護関係者</p> <p>(退院調整実務者:医療ソーシャルワーカー,訪問看護師,退院調整看護師,介護支援専門員など)</p> |
| 参加人数 | 約200名(見込) |
| 参加費用 | 無料(懇親会参加費用は別途徴収 ※金額は概ね@3,000円程度) |
| 実行委員 | <p>山村 哲 (北海道医療ソーシャルワーカー協会南支部)</p> <p>酒本 清一 ()</p> <p>八重樫 優 ()</p> <p>小棚木 大輔(函館市保健福祉部)</p> <p>京野 尚 ()</p> <p>金 葵 ()</p> |
| 備 考 | アンケート実施 |

次回スケジュールの確認票

貴所属団体名 _____

お名前 _____

1 次回協議会開催スケジュールについて

(1) 次回協議会開催希望日（5月）

ご都合が取れない日程に、×をつけてご回答願います。

※開始時刻は19：00を予定しております。

| 平成28年5月 | | | | | | |
|---------|-----|-----|-----|-----|-----|-----|
| 10日 | 11日 | 12日 | 17日 | 18日 | 19日 | 20日 |
| (火) | (水) | (木) | (火) | (水) | (木) | (金) |
| | | | | | | |

(2) 回答連絡先（いずれでも結構です。）

FAX：0138-32-1505

郵送：〒040-0001 函館市五稜郭町23番1号 市立函館保健所地域保健課
函館市医療・介護連携推進協議会事務局 行き

E-mail： iryo-kaigo@city.hakodate.hokkaido.jp